



第15期 第2四半期 決算説明会

2020年2月28日

scigineer

サイジニア株式会社

会社概要

scigineer

- 会社名 サイジニア株式会社
- 所在地 東京都港区浜松町1-22-5
- 代表取締役 吉井 伸一郎
- 事業内容 パーソナライズ・エンジン「デクワス」を利用した
マーケティング支援サービスを提供
- 沿革 2005年8月 サイジニア有限会社を北海道江別市に設立
 2007年4月 サイジニア株式会社へ組織変更
 2008年5月 「デクワス.RECO」サービス開始
 2010年10月 「デクワス.AD」サービス開始
 2012年9月 「デクワス.DSP」サービス開始
 2014年2月 「デクワス.POD」サービス開始
 2014年12月 東京証券取引所マザーズ市場へ上場
 2016年10月 「デクワス.CAMERA」サービス開始
 2017年9月 ビジュアルAIレコメンド「デクワス.VISION」サービス開始
 2018年8月 クルーズ株式会社と業務提携
 2018年8月 Yextのパートナーとしてデジタルナレッジマネジメント事業を開始
 2019年5月 「デクワス・マイビジネス」サービス開始

- ネット上の情報閲覧や商品購入などに関する

ユーザー行動履歴を大量保有し、

- ビッグデータから趣味嗜好性を解析する

AI等を駆使した独自解析技術を開発、

- 欲しいものをおすすめ、商品購入を促進する

マーケティングサービスを提供しています

「探すんじゃなくて、でくわす」を実現する デクワス を開発・提供



レコメンド事業



ネット広告事業



パーソナライズ ターゲティング



再購入促進

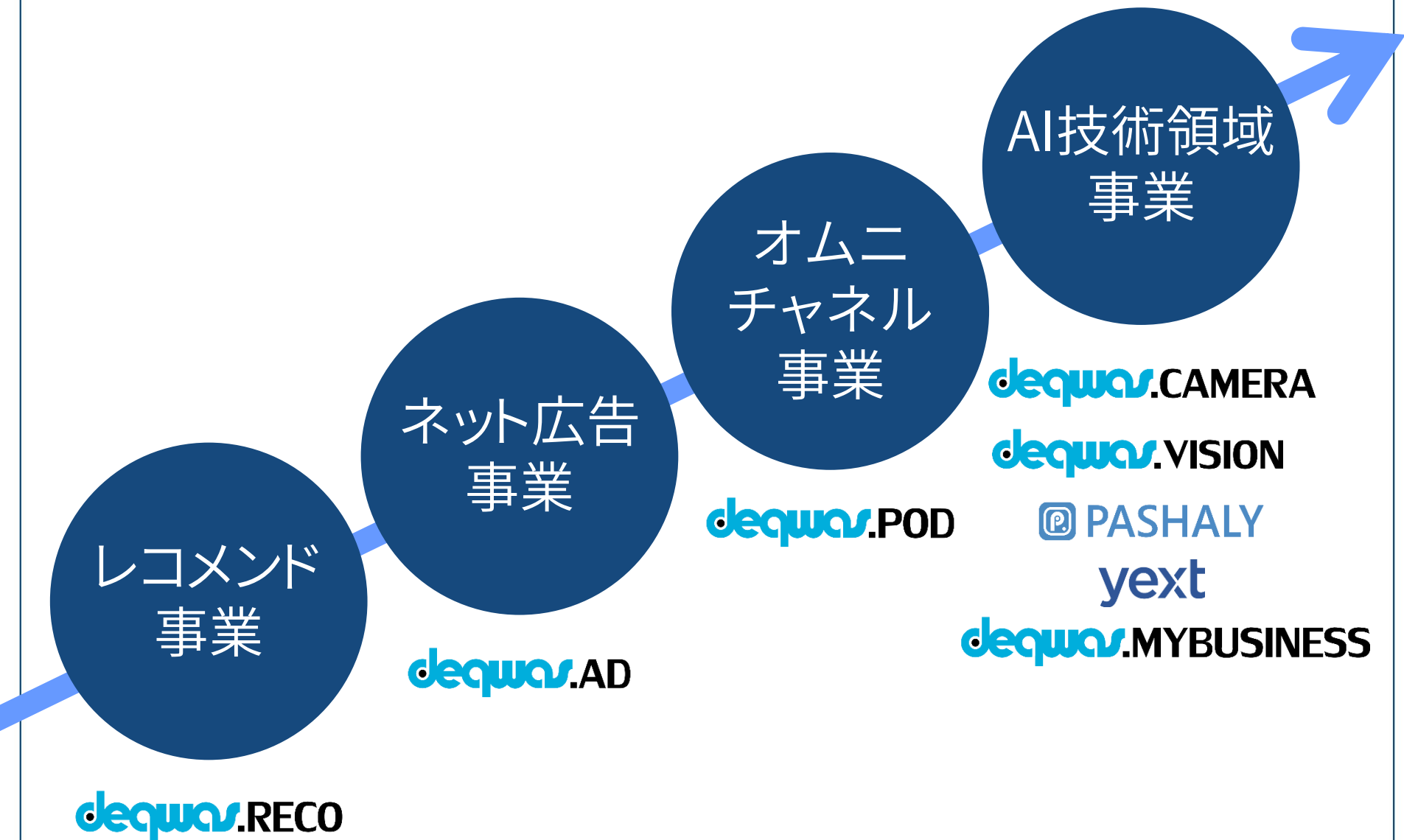


AIによる画像解析



オムニチャネル事業

AI・ビジュアルコマース事業





上期ハイライト

scigineer

① 既存ビジネスの伸長

② DKMビジネスの順調な立ち上がり

パーソナライズ・レコメンドサービス

- 画像解析AIエンジンによる「デクワス.VISION」に注力し、前第2四半期累計期間に比べ、売上4.9%増

パーソナライズ・アドサービス

- 事前の情報収集を必要とせず簡単にターゲティング広告を配信できる「デクワス.ADスタートパック」の売上が好調
- 前第2四半期累計期間に比べ、売上36.2%増

デジタルナレッジマネジメントサービスの受注拡大

- アパレル、金融機関、教育産業および小売業界に続き、
外食産業のお客様からも受注を獲得。
- 直近では医療機関にも導入されるなど、営業範囲を拡大。
- スtock型のビジネスモデルで、今後の収益拡大の柱に。

小売業

金融業

教育業界

外食産業

医療機関

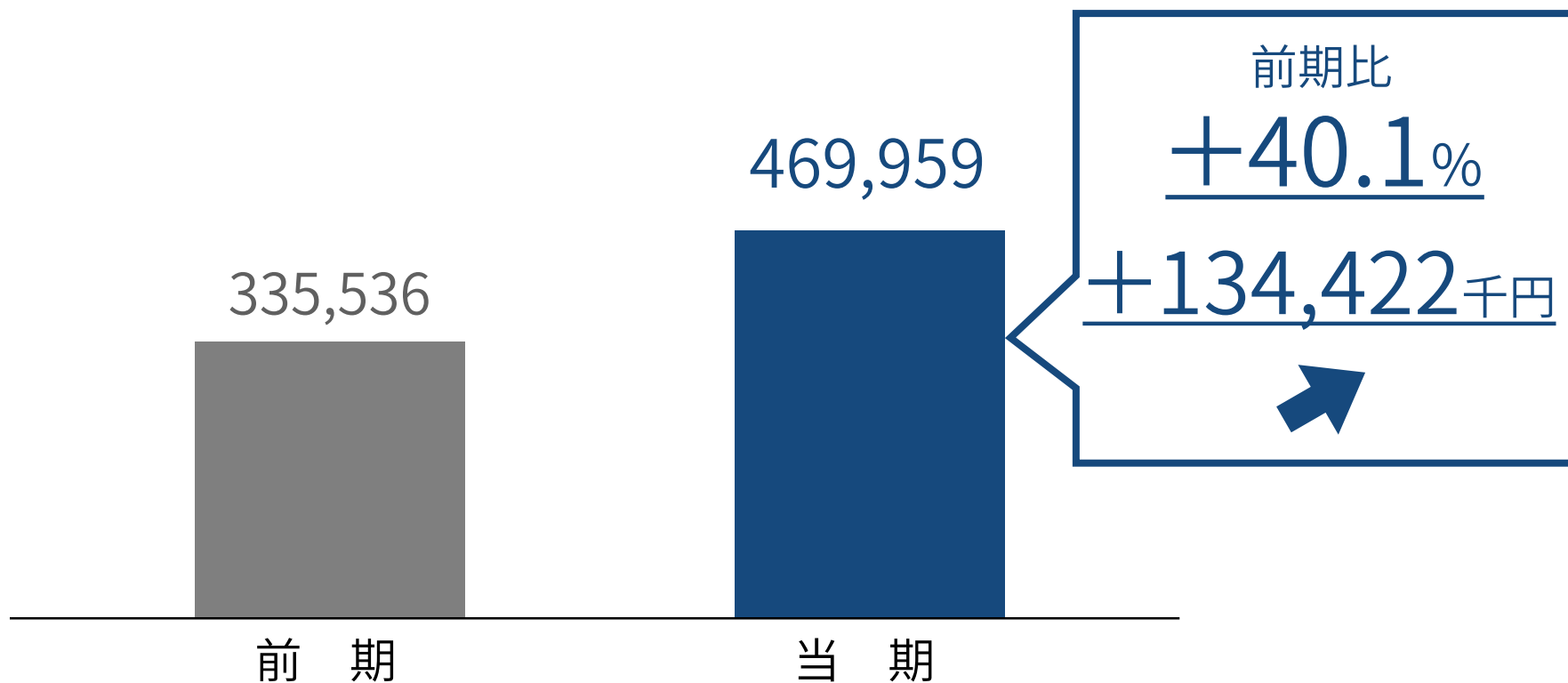
第2四半期決算概要

scigineer

● 当会計期間 (2019年7月1日～2019年12月31日)

売上高

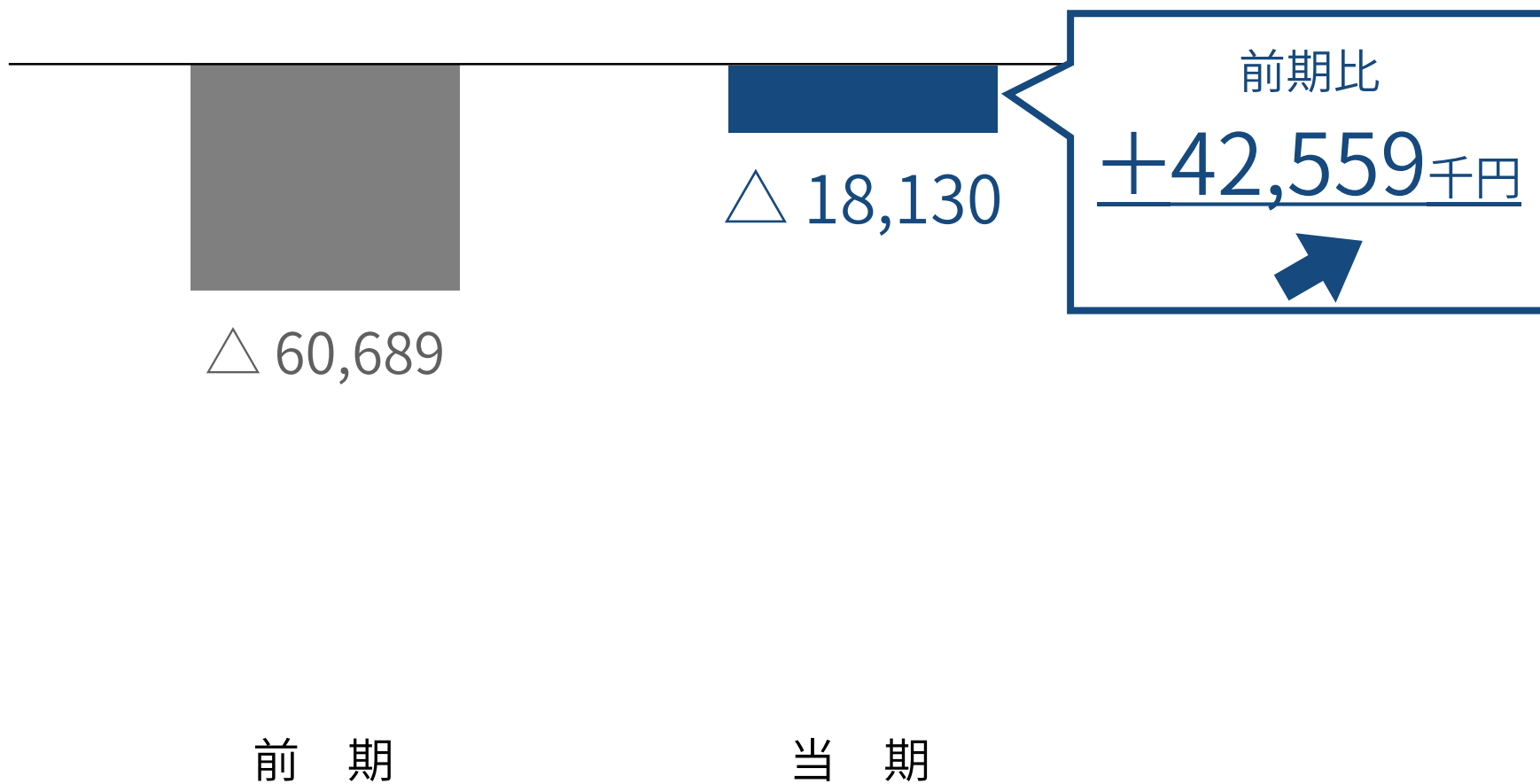
単位:千円



● 当会計期間 (2019年7月1日～2019年12月31日)

営業損失(△)

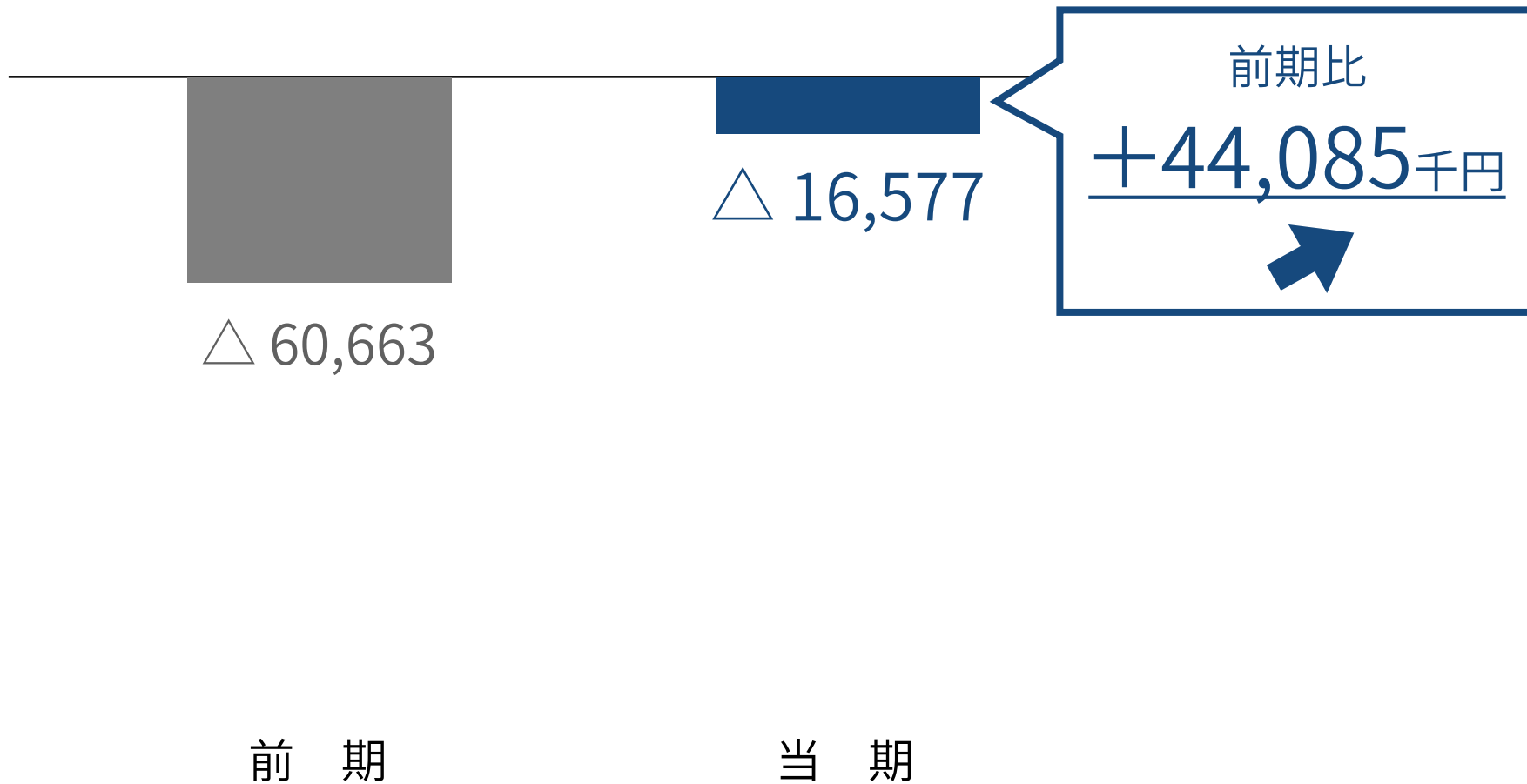
単位:千円



● 当会計期間 (2019年7月1日～2019年12月31日)

経常損失(△)

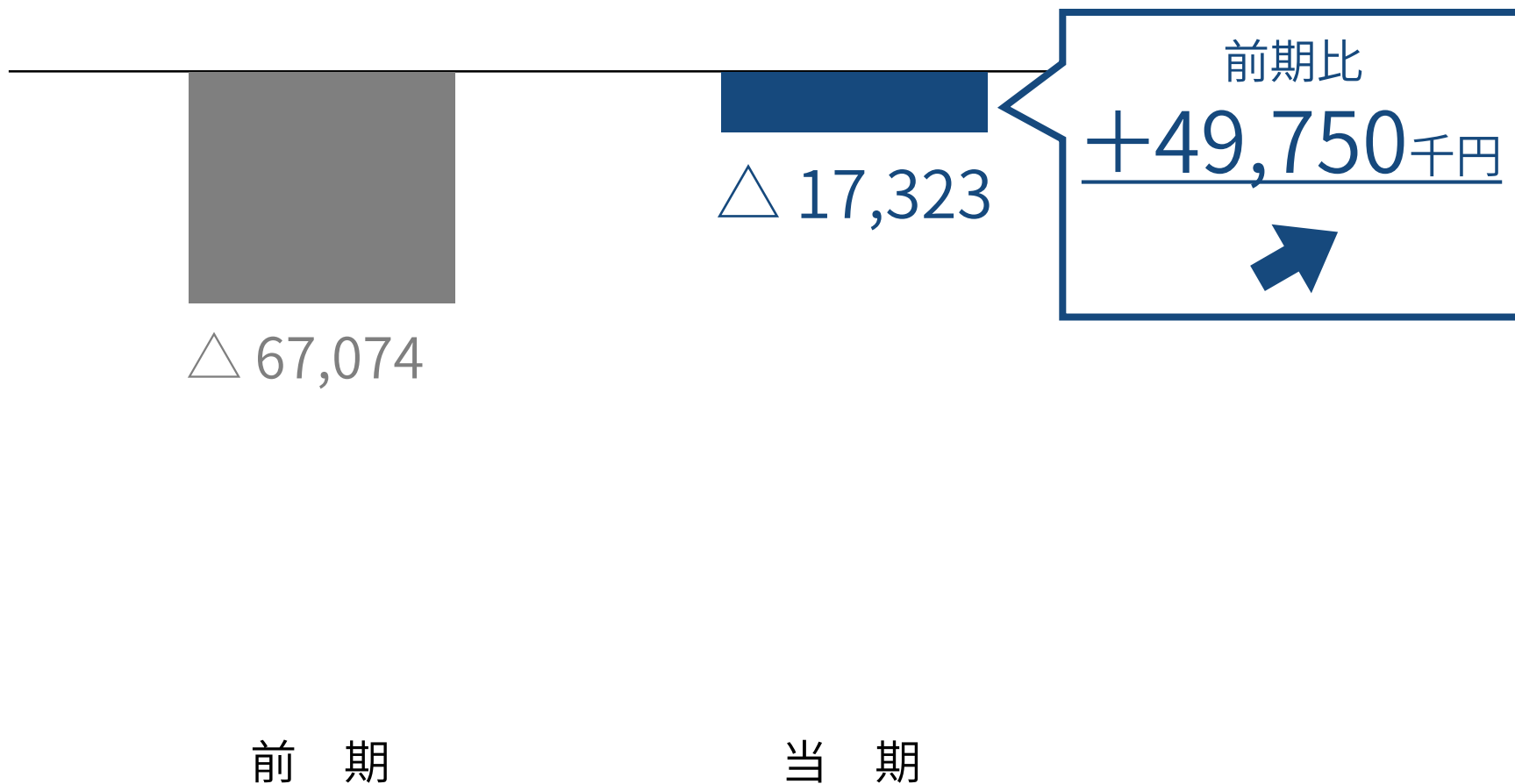
単位:千円



● 当会計期間 (2019年7月1日～2019年12月31日)

当期純損失(△)

単位:千円



単位:千円

科 目	金 額
売上高	469,959
売上原価	377,173
売上総利益	92,785
販売費及び一般管理費	110,916
営業損失(△)	△18,130
営業外収益	1,552
経常損失(△)	△16,577
特別損失	271
税引前当期純損失(△)	△16,848
当期純損失(△)	△17,323

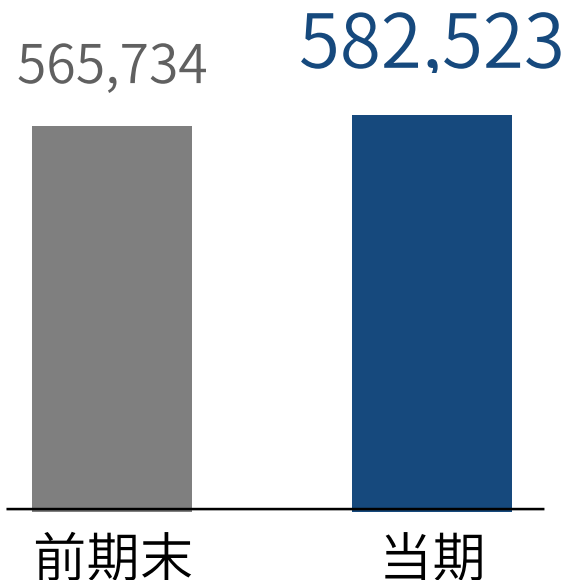
scigineer 貸借対照表(資産の部)

単位:千円

科 目	金 額
資産の部	
流動資産	561,042
固定資産	21,481
有形固定資産	—
投資その他の資産	21,481
資産合計	582,523

資産合計

前事業年度末比
+16,789千円 



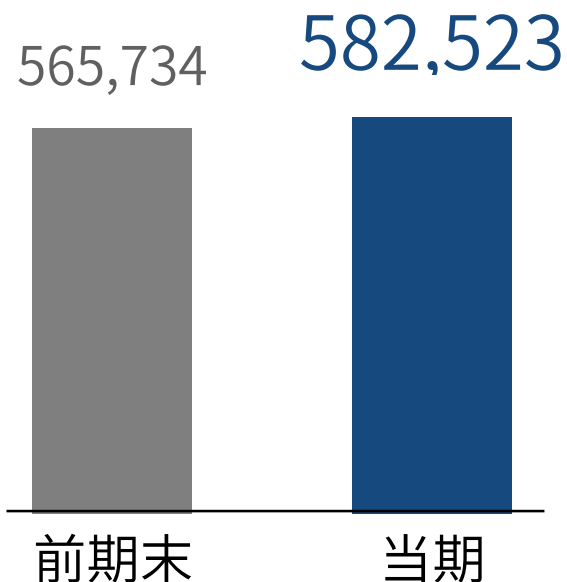
scigineer 貸借対照表(資産の部)

単位:千円

科 目	金 額
資産の部	
流動資産	561,042
固定資産	21,481
有形固定資産	—
投資その他の資産	21,481
● 現金及び預金の減少	△6,277千円
● 売掛金の増加	10,652千円
● 前払費用の増加	16,222千円
資産合計	582,523

資産合計

前事業年度末比
+16,789千円



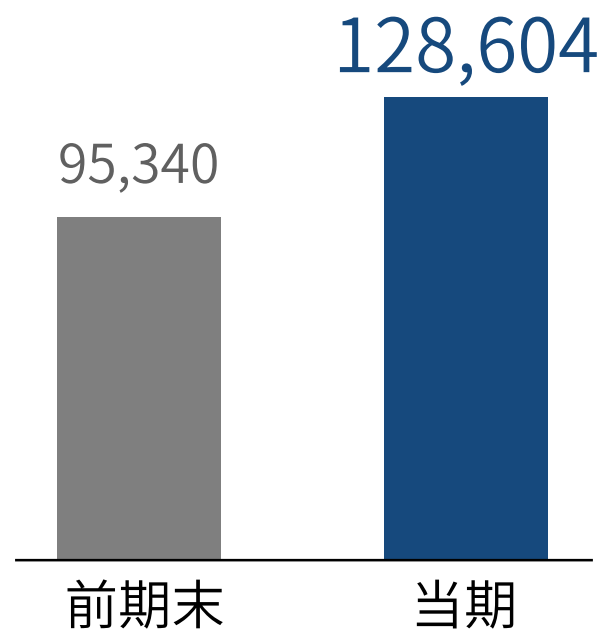
scigineer 貸借対照表(負債の部)

単位:千円

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	122,365
固定負債	6,239
負債合計	128,604
純資産の部	
株主資本	442,894
資本金	800,961
資本剰余金	797,961
資本準備金	797,961
利益剰余金	△1,156,028
新株予約権	11,024
純資産合計	453,919
負債純資産合計	582,523

負債合計

前事業年度末比
+33,264千円



scigineer 貸借対照表(負債の部)

単位:千円

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	122,365
固定負債	6,239
負債合計	128,604

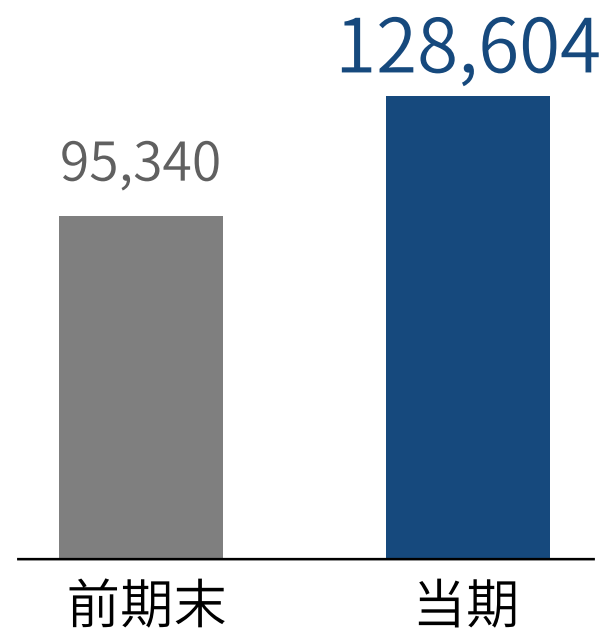
負債合計

前事業年度末比
+33,264千円

純資産の部

- 買掛金の増加 9,381千円
- 前受収益の増加 23,096千円

資本準備金	797,961
利益剰余金	△1,156,028
新株予約権	11,024
純資産合計	453,919
負債純資産合計	582,523



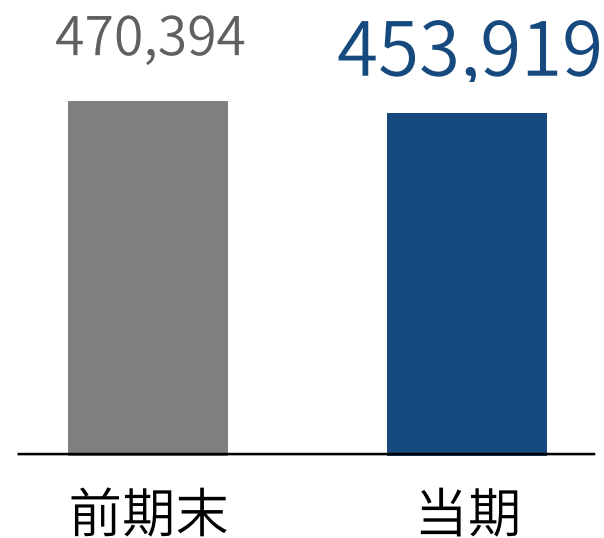
scigineer 貸借対照表(純資産の部)

単位:千円

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	122,365
固定負債	6,239
負債合計	128,604
純資産の部	
株主資本	442,894
資本金	800,961
資本剰余金	797,961
資本準備金	797,961
利益剰余金	△1,156,028
新株予約権	11,024
純資産合計	453,919
負債純資産合計	582,523

純資産合計

前事業年度末比
△16,474千円



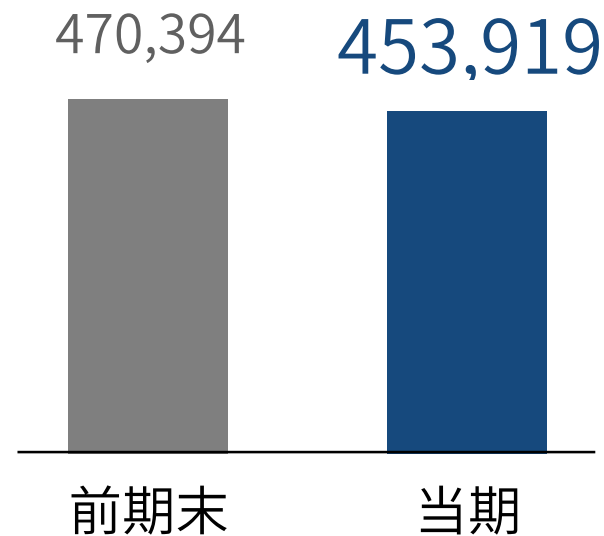
scigineer 貸借対照表(純資産の部)

単位:千円

科 目	金 額
負債の部	
流動負債	122,365
固定負債	6,239
負債合計	128,604
純資産の部	
株主資本	442,894
資本金	800,961
資本剰余金	797,961
資本準備金	797,961
● 利益剰余金の減少	△17,323千円
新株予約権	11,024
純資産合計	453,919
負債純資産合計	582,523

純資産合計

前事業年度末比
△16,474千円



■ 下期の取り組み

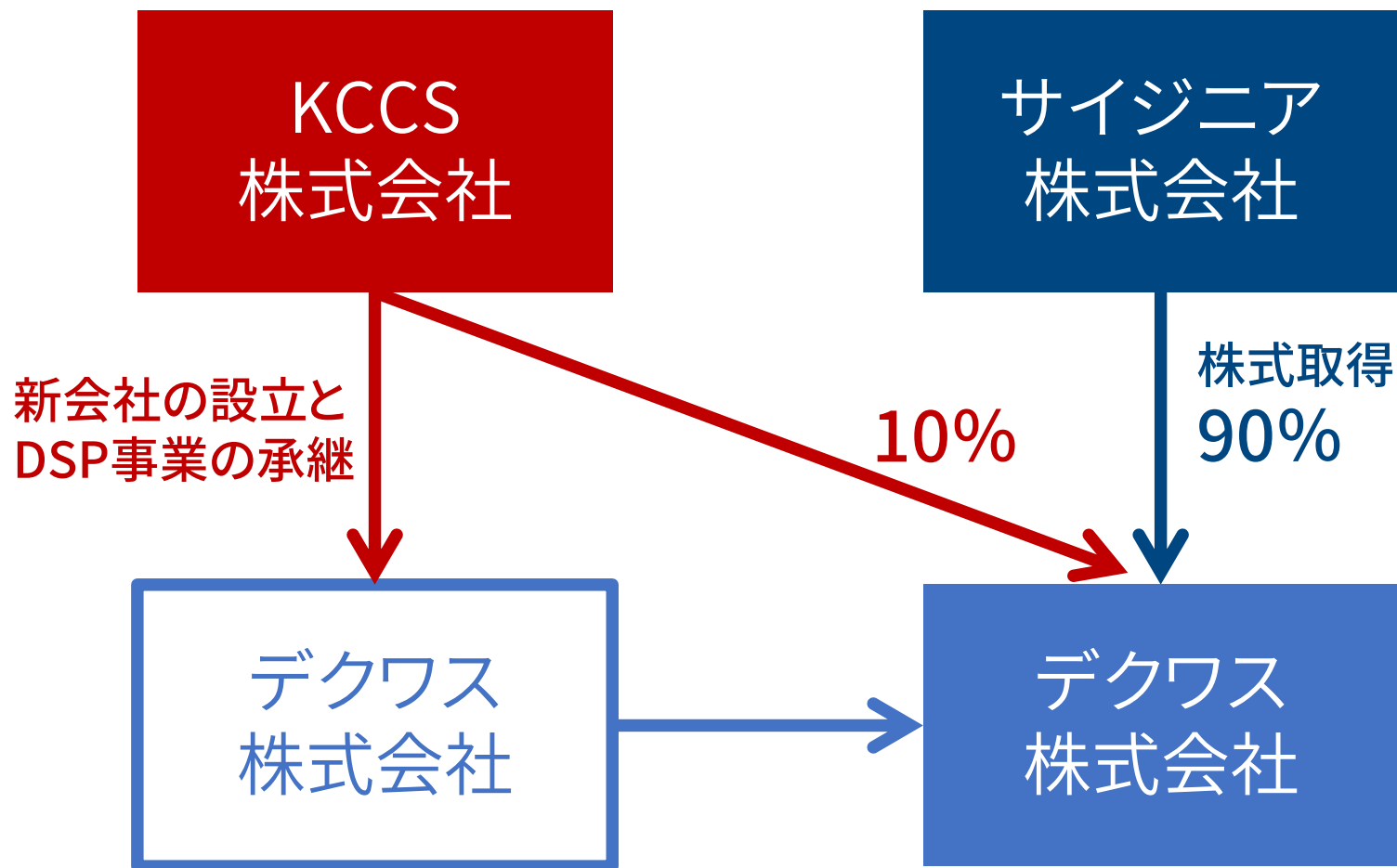
scigineer

ECサイト内検索連動型広告やOMO領域での協業に向け

- EC商品検索やレビュー機能を提供するZETA株式会社と資本業務提携。
- 両社の得意領域を融合し、事業領域の拡大を目指す。
 - ユーザーが検索したキーワードに連動した広告が表示される検索連動型の広告サービス
 - 店舗とECそれぞれのメリットを生かし、より良い顧客体験を実現するOMO領域

ネット広告業界に訪れる変革の波に対応

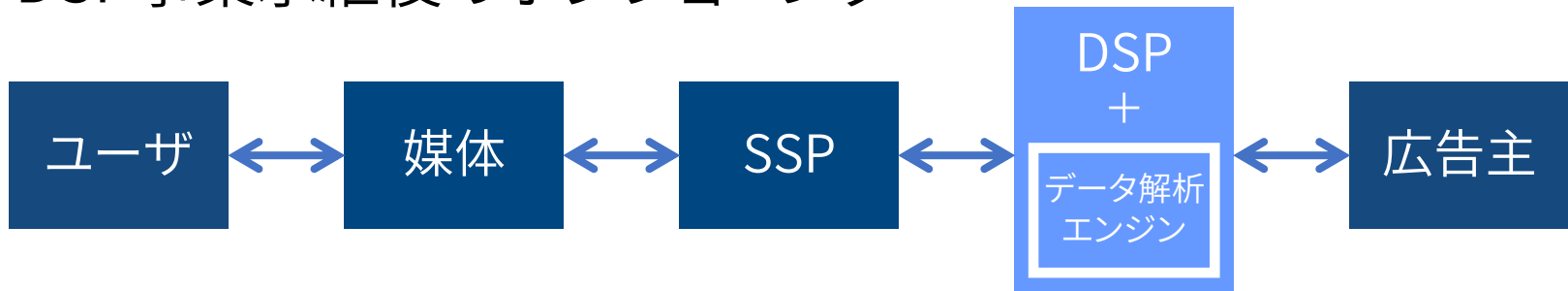
- 現状のネット広告はクッキーをもとに行動履歴を収集・分析し、高い広告効果を発揮しているが、ブラウザのシェア大手のGoogleは今後サードパーティークッキーを廃止していく予定。結果、ネット広告市場のエコシステムが大きく変わる見込み。
- 当社は、AI等関連技術を駆使して、行動履歴に依存しないサービスを開発し、成果があがっている。
- 今後想定されるネット広告の仕様変更や業界構造の変革に迅速に対応し、パラダイムシフトに適応した事業を展開すべくKCCSからDSP事業を承継し、自ら広告配信基盤を開発・運営。



- 現状の当社のポジショニング



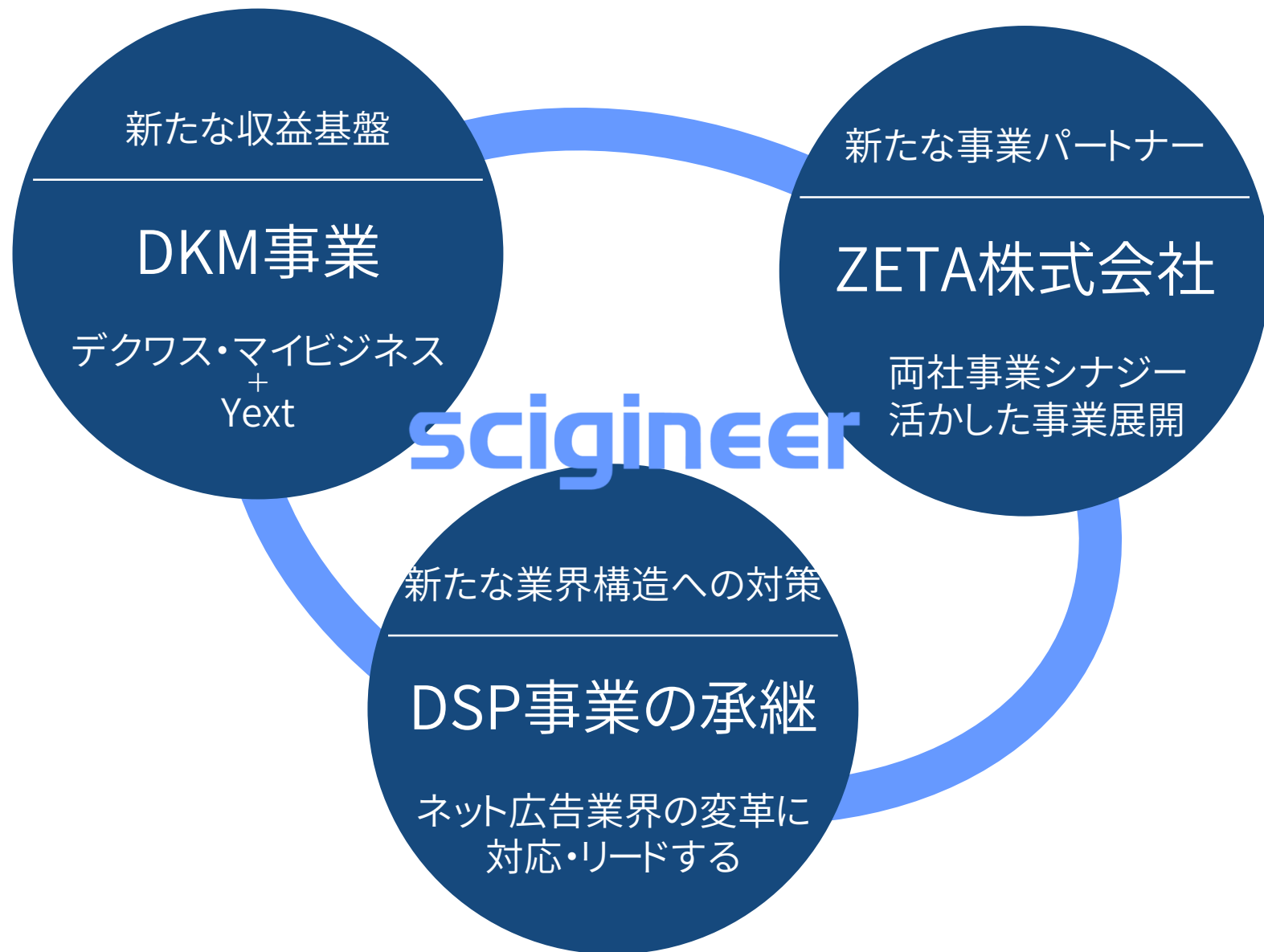
- DSP事業承継後のポジショニング



当社独自の技術を生かした
事業展開を可能に

新しい広告形態を見据えた事業展開

- クッキー依存に代わるデータ解析技術の提供
 - 検索連動広告など新しいパートナーとの連携
 - リアルとデジタルを融合したOMO領域での商品開発
 - DSP配信基盤を応用した新規事業
- など独自の価値創出を目指す。



2020年6月期 通期業績見込み

scigineer

当社は、2020年3月2日付で京セラコミュニケーションシステム株式会社がDSP事業を新設分割することにより新たに設立するデクワス株式会社の株式を取得し、子会社とする予定です。

これに伴い、2020年6月期第3四半期より、連結決算へ移行する予定ですが、連結業績予想は精査中であり、確定次第速やかに開示いたします。

なお、次ページの予想は通期の個別業績予想であり、2019年8月9日に公表した予想から修正はありません。

単位:百万円

科 目	2019.06 通期実績	2020.06 通期見込み	前期比
売上高	691	820	+18.6%
営業損失(△)	△107	△67	—
経常損失(△)	△107	△67	—
当期純損失(△)	△111	△88	—

質疑応答

scigineer

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

scigineer